

教育行財政

本市は、4世紀後半のものといわれる東北で最大規模の古墳を有し、更に畿内に比べても遜色のない仏教文化が隆盛を極めるなど、高水準の文化ゾーンであったことでも知られている。特に藩校日新館や稽古堂などの史跡に見られるように、藩政時代の精神も継承され、次代を担う有能な人材育成と豊かな人間形成を目指した教育が社会、地域ぐるみで実践されている。これは、戊辰戦争後の荒廃の中で、浄財による私立中学校が創設されるなど、先人の遺徳に負うところが大きく、教育に傾ける情熱と期待は相当なものがある。

近年、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正がなされ、新教育委員会制度がスタートするなど、教育制度は大きな変革の時代を迎えたが、本市は、先人が築いてきた会津を誇りとした、ぶれることのない教育行政を推進するものである。

重点施策

会津若松市教育委員会では、平成29年4月からの「会津若松市第7次総合計画」にあわせ、本市教育行政の方向性を示す「会津若松市教育大綱・教育振興基本計画」を策定し、目標に掲げる「未来につながるつくり」の実現に向けて、次のとおり施策を定める。

1 学校教育

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 特別支援教育の充実

2 教育環境

- (1) 就学環境の充実
- (2) 学校環境の充実、整備

3 地域による子ども育成

- (1) 子どもと子育て家庭を支える地域づくり
- (2) 青少年の健全育成

4 生涯学習

- (1) 生涯学習活動の支援
- (2) 読書活動の推進
- (3) 地域における社会教育の推進

5 スポーツ

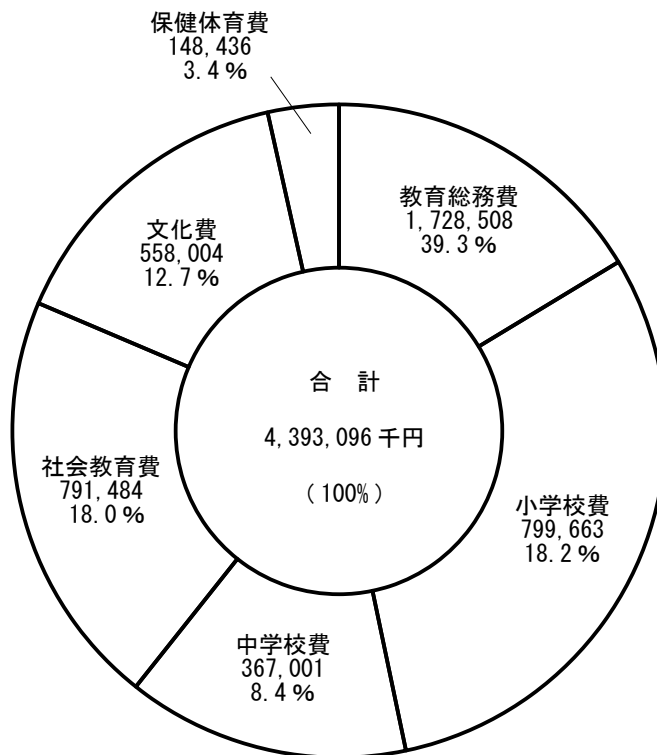
- (1) スポーツ機会の充実
- (2) スポーツ環境の充実

6 歴史・文化

- (1) 地域の文化力を醸成する文化、芸術の振興
- (2) 地域の歴史・文化を育む環境づくり
- (3) 歴史資源・伝統文化の保存・継承

教育財政

◆令和5年度教育費当初予算額



一般会計と教育費の推移 (当初予算額)

区分	一般会計 (千円)	教育費 (千円)	構成比 (%)
5年度	49,937,000	4,393,096	8.8
4年度	52,488,000	3,785,063	7.2
3年度	47,393,000	4,192,416	8.8
2年度	48,559,000	5,590,318	11.5
元年度	47,742,000	4,936,000	10.3
30年度	48,625,000	4,171,401	8.6
29年度	48,687,000	5,424,202	11.1
28年度	46,857,000	4,585,237	9.8
27年度	48,977,000	5,614,978	11.5
26年度	45,945,000	4,452,687	9.7
25年度	44,014,000	3,937,458	8.9

※ 教育費のうち平成26年度からは幼稚園費を含まず。

学校教育

学習指導要領のねらいの実現に向け、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導や体験的・問題解決的な活動の充実などを通して、基礎的・基本的な知識はもとより、学ぶ意欲、判断力、表現力までを含めた「確かな学力」の育成や豊かな人間性を育み「心の教育」の充実をねらいとした取り組みに努める。

さらに、経済・社会のグローバル化やSDGs、Society5.0の実現に向けた取組が進展する中、国際

理解教育の充実や「英語」によるコミュニケーション能力の育成、国の「GIGAスクール構想」に基づいたICTの活用による主体的・対話的で深い学びの実現、障がいのある子どもの自立・社会参加に向けた特別支援教育の充実、不登校児童生徒の学校復帰をサポートする学習支援・相談業務、更には食育の推進などの取り組みに努める。

また、「幼児教育振興プログラム」に示した幼児教育の基本的な方向性に基づき、全市的な幼児教育の振興を図る。

小中学校等の概要

◆小学校

(令和5年5月1日現在)

区分	開校年月	児童数(人)	学級数	教職員数	校舎面積(m ²)	屋体面積(m ²)	校地面積(m ²)	プール
鶴城小	明治 6年1月	259	17	28	5,905	1,385	16,315	25m×13m=325m ²
城北小	明治39年4月	384	17	25	5,389	907	21,322	25m×10m=250m ²
行仁小	明治 6年3月	287	14	22	5,362	1,546	11,812	25m×10m=250m ²
城西小	明治 6年4月	523	21	33	5,517	1,219	14,063	25m×13m=325m ²
謹教小	明治 6年	278	15	24	5,937	1,200	17,640	25m×13m=325m ²
日新小	昭和28年4月	332	15	22	5,609	1,241	18,091	25m×13m=325m ²
湊 小	平成11年4月	68	8	15	3,096	911	27,657	25m×13m=325m ²
一箕小	明治 6年5月	624	24	40	6,602	1,182	16,508	25m×13m=325m ²
松長小	平成 2年4月	210	10	16	5,434	1,092	22,978	25m×13m=325m ²
永和小	明治 6年5月	86	7	15	3,316	485	13,155	25m×10m=250m ²
神指小	明治 6年	67	7	14	3,311	973	20,836	25m×13m=325m ²
門田小	明治 6年4月	389	17	28	7,104	1,362	22,818	25m×13m=325m ²
城南小	平成元年4月	318	14	21	4,969	1,092	21,288	25m×13m=325m ²
大戸小	明治 6年4月	45	6	11	3,266	880	21,438	25m×13m=325m ²
東山小	明治 6年4月	231	11	19	3,840	873	21,420	25m×13m=325m ²
小金井小	平成15年4月	554	22	36	6,156	1,183	17,414	25m×13m=325m ²
荒館小	明治6年 5月	232	11	20	4,332	1,033	22,745	25m×13m=325m ²
川南小	明治5年11月	92	6	12	2,470	738	18,334	25m×10m=250m ²
計18校		4,979	242	401	87,615	19,302	345,834	

◆中学校

(令和5年5月1日現在)

区分	開校年月	生徒数(人)	学級数	教職員数	校舎面積(m ²)	屋体面積(m ²)	校地面積(m ²)	プール
第一中	昭和22年5月	395	14	33	5,713	1,316	24,763	25m×13m=325m ²
第二中	昭和22年4月	278	11	23	7,489	1,424	26,944	25m×13m=325m ²
第三中	昭和22年5月	273	11	24	6,101	1,318	21,526	25m×13m=325m ²
第四中	昭和22年5月	542	20	42	6,197	1,230	34,856	25m×13m=325m ²
第五中	昭和22年4月	385	14	32	5,515	1,154	24,488	25m×13m=325m ²
第六中	昭和53年4月	84	4	15	2,674	968	23,961	25m×13m=325m ²
湊 中	昭和22年3月	25	4	12	1,902	884	21,424	25m×13m=325m ²
一箕中	昭和22年4月	369	13	27	5,881	1,029	22,927	25m×13m=325m ²
大戸中	昭和22年4月	24	4	16	2,109	900	18,085	25m×13m=325m ²
北会津中	昭和40年4月	167	6	18	4,903	1,341	35,056	25m×13m=325m ²
計10校		2,542	101	242	48,484	11,564	254,030	

◆義務教育学校

(令和5年5月1日現在)

区分	開校年月	児童・生徒数 (人)	学級数	教職員数	校舎面積(m ²)	屋体面積(m ²)	校地面積(m ²)	プール
河東学園	令和3年4月	542	24	46	14,667	2,608	57,278	-

◆幼稚園

(令和5年5月1日現在)

区分	開校年月	園児数(人)	学級数	教職員数	校舎面積(m ²)	屋体面積(m ²)	校地面積(m ²)	プール
河東第三幼	昭和52年4月1日	12	2	4	479	-	1,423	-

◆校舎・屋体非木造率

区分		小学校	中学校	義務教育学校	幼稚園	
校舎	非木造	面積(m ²)	87,507	48,229	14,667	479
		比率(%)	99.88%	99.47%	100%	100%
	木造	面積(m ²)	108	255	0	0
		比率(%)	0.12%	0.53%	0	0
	計	面積(m ²)	87,615	48,484	14,667	479
		比率(%)	100%	100%	100%	100%
屋体	非木造	面積(m ²)	19,302	11,564	2,608	0
		比率(%)	100%	100%	100%	0
	木造	面積(m ²)	0	0	0	0
		比率(%)	0	0	0	0
	計	面積(m ²)	19,302	11,564	2,608	0
		比率(%)	100%	100%	100%	0

教育研究委託事業等

◆小中学校教育研究

- 本市教育の向上をめざす教育活動として児童作品集の制作等、実践的研究を行う。
(幼稚園・小中学校教育研究会)

学校給食

◆給食費

区分	1食平均単価	年間徴収金額	実施形態 (1週当たり回数)		
			米飯	パン	麺
幼稚園	260円	45,500円	3.5	0.5	1
小学校	300円	57,000円	3.5	0.5	1
中学校	350円	63,000円	3.5	0.5	1

※ 年間徴収金額は、年間の給食実施回数を「会津若松市学校給食費の徴収等に関する規則」別表1に定める回数(幼稚園175回、小学校190回、中学校180回)とした場合の金額。なお、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間に限り、児童生徒分は令和5年度日額(幼稚園267円、小学校310円、中学校370円)を適用せず、令和4年度単価に据え置いたものとする。

◆学校給食施設 (令和5年5月1日現在)

区分		委託	食数	年間回数
城北小学校		○	409	186
城西小学校		○	556	187
謹教小学校		○	302	184
日新小学校		○	354	190
一箕小学校		○	664	187
松長小学校		○	226	185
神指小学校			81	185
城南小学校		○	339	185
東山小学校		○	250	186
湊地区 学校給食センター	湊小	○	83	189
	湊中		37	180
永和地区 学校給食センター	永和小	○	101	188
	第六中		99	177
門田地区 学校給食センター	門田小	○	417	175
	第五中		417	158
小金井地区 学校給食センター	小金井小	○	590	188
	第四中		584	175
北会津地区 学校給食センター	大戸小	○	56	189
	荒館小		252	189
	川南小		104	189
	大戸中		40	180
	北会津中		185	180
河東地区学校 給食センター	河東三幼	○	16	174
	河東学園		588	189
会津若松学校 給食センター	鶴城小	○	287	186
	行仁小		309	187
	第一中		428	176
	第二中		301	176
	第三中		297	177
一箕中	396	173		
計			8,075	

- 1) 委託は調理・洗浄(一部運搬)業務の委託
- 2) 食数は児童生徒数、教職員数等の合計
- 3) 年間回数は最も多い学年の年間回数

中学校卒業者の進路状況

(単位:人)

区分		4年度	3年度	2年度
進学者	男	482	492	497
	女	475	457	447
	計	957	949	944
就職者	男	1	4	1
	女	0	0	0
	計	1	4	1
専修学校等 入学者	男	2	1	1
	女	1	3	3
	計	3	4	4
無職者 その他	男	6	5	4
	女	3	4	1
	計	9	9	5
卒業者	男	491	502	503
	女	479	464	451
	計	970	966	954
進学率(%)		98.7	98.2	99.0

※ 進学率は、進学者÷卒業者

学校保健・安全教育

学校教育活動全体を通して保健安全教育活動を展開し、疾病の予防や健康の増進、さらには児童・生徒の事故防止に努める。

◆日本スポーツ振興センター加入及び給付状況

区 分	小学校	中学校	計
在籍者(人)	5,506	2,807	8,313
加入者(人)	5,506	2,807	8,313
加入率(%)	100%	100%	100%
災害件数(件)	176	172	348
災害率(%)	3.2%	6.1%	4.2%
給付金(円)	462,979	407,750	870,729

※ 在籍者、加入者は令和4年5月1日現在の人数

※ 災害件数、給付金は令和4年度請求分の件数及び金額

※ 義務教育学校（前期課程）は小学校、義務教育学校（後期課程）は中学校に含む。

生涯学習・青少年健全育成

近年は、市民の高学歴化や価値観の多様化が進み、個々のライフスタイルが大きく変化している。また、自由時間の増大の中で生涯学習活動に取り組む方が増えてきている。

本市はこうした市民の生涯学習活動を支援し、様々な学習に関する情報の収集・整理及びその発信・提供に努め、誰もが自由にいきいきと学べる生涯学習社会の実現に取り組むとともに、平成27年度に策定した「生涯学習推進ビジョン」に基づき、地域社会で活躍する人材の育成と活用、学校・家庭・地域の連携、大学等との連携による生涯学習ネットワークの強化、地域コミュニティの活性化等に取り組んでいる。

また、本市は会津藩校日新館創設以来「人こそまちづくりの礎」と考え、子どもたちの教育に力を入れてきた歴史と伝統がある。近年、子どもたちが、家庭や地域の中で社会性を身に付ける機会が減少しており、社会のルールを守ろうという規範意識の低下が懸念されているが、本市では、平成13年度に策定した「青少年の心を育てる市民行動プラン“あいづっこ宣言”」を柱に、青少年の健全育成を進めている。

重点施策の概要

(1) 生涯学習活動の支援

○市民ニーズに応じた生涯学習に関する

情報提供と相談機能の充実

市民が求める生涯学習情報の提供として、関係部局と連携しながら、出前講座の充実を図るとともに「生涯学習相談コーナー」の利用促進に取り組んでいく。

○生涯学習ネットワークの強化

生涯学習総合センター（會津稽古堂）を会場とし、会津大学や地域団体、企業や商店街などと連携を図り、それぞれの特性を活かした多様な内容の講座や事業を行っていく。

○社会教育を推進する人材の育成と活用

講座の企画や運営方法などを学ぶ講座やコーディネーター研修等を開催し、市民の自主的な生涯学習活動を支援する人材の育成に努める。

○誰もが生涯学習に取り組める環境の整備

生涯学習総合センターにおいては、利用者の意見や要望などを踏まえ、公民館と図書館、ホール・ギャラリーを備えた複合施設の機能を活かし、より利用しやすく、快適な学習環境を整えるとともに、ランニングコストの削減を図りながら適切な管理運営に努める。

○デジタル社会に対応した学習活動支援

市民講座などにおいて、ICTを活用した運営に取り組むとともに、デジタル機器の利用方法について学ぶ講座を開催するなど、ICTについての知識を身に付ける機会の提供に努める。

○学校と地域、家庭との連携・協働

公民館が中心となり、家庭、地域、学校が連携・協働し、地域住民・各種団体等の参画を得て、子どもたちの登下校の見守りや、学校行事や野外授業の手伝いなど、学校教育の活動を地域総ぐるみで支援していく地域学校協働活動を推進する。

また、学校運営協議会と連携して安定的に活動支援が継続できるよう、地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員と協力して、地域学校協働本部の立ち上げを進める。

○地域の教育力を活用した子どもたちの育成支援の充実

児童の放課後の時間を活用した活動である放課後子ども教室を充実させるため、学校や地域住民・団体等と連携しながら、地域住民を指導者とした体験学習などを実施し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。

(2) 読書活動の推進

○図書資料等の充実

市民からの要望に応えながら、魅力ある図書資料の購入や郷土資料・行政資料の収集を図り、乳幼児から高齢者までを対象とした図書等の整備に努める。

○図書館サービスの提供

貴重資料の保存に努め、丁寧なレファレンス業務に取り組むとともに、「会津若松市デジタルアーカイブ」のコンテンツの充実、商用データベース閲覧や視覚障がい者等サービスなどを提供し、利用者の利便性を図り、図書館サービスの向上に努める。

○読書環境の整備・支援

読み聞かせボランティアや学校図書館ボランティアを養成するとともに、乳幼児から小学生を対象とした読み聞かせ活動を、ボランティアと協働で継続実施していく。学校図書館整備の支援や移動図書館（あいづね号）を巡回させ読書環境を充実していく。

○地域や家庭における読書の推進

「あいづっこ読書活動推進計画」に基づき、家庭を中心とし、学校、ボランティア団体等の連携

のもと、子どもの読書活動の推進に取り組む。

(3) 地域における社会教育の推進

○公民館を拠点とした社会活動への

住民参加と地域づくり

公民館と地域住民がともに事業を作り上げていく、住民参加型の事業を展開するなど社会教育を推進する。

○社会教育施設の充実と環境整備

利用者が安全に安心して利用できるよう、施設の適正な維持管理に努めるとともに、老朽化が進む公民館においては施設、設備を計画的に改修するなど、利用者が活動しやすい環境を整備する。

(4) 青少年の健全育成

○會津藩校日新館の教えである「ならぬことはならぬ」に代表される会津の精神を踏まえて策定した「青少年の心を育てる市民行動プラン“あいづっこ宣言”」を青少年健全育成の柱とし、地域ぐるみで青少年を育みます。

○少年の非行防止

少年の非行防止等に関する総合的な実践活動を推進するため、少年センターを拠点とし「愛の一声」等による街頭補導や見せる補導として活動する「あいづっこ青色パトロール」、さらに社会環境浄化活動等を通して、少年の非行・被害防止や青少年の健全育成活動を進めていきます。

○青少年関係団体の活性化

心豊かで創造性にあふれ、自分自身を大切にするとともに、社会規範を守り他者の立場に立って考え行動できる青少年を育成するために、家庭、学校、地域、さらには企業と連携し、「青少年育成市民会議」や「子ども会育成会」等の青少年関係団体の活動を支援し、活性化を図りながら青少年の健全育成を推進します。

生涯学習関連施設及び関係団体

【社会教育施設】

生涯学習総合センター（中央公民館・会津図書館を含む）、地区公民館（北、南、大戸、一箕、東、湊、北会津、河東、神指分館）、少年の家、子どもの森

【社会体育施設】

体育館（あいづ総合、鶴ヶ城、ふれあい体育館、河東総合、各学校）、グラウンド（陸上競技場、各学校、河川敷）、その他（会津総合運動公園内各施設、鶴ヶ城公園内各施設、冒険の森、小松原多目的運動場、河東弓道場、河東野球場、河

東テニスコート、コミュニティプール等)

【文化教養施設】

會津風雅堂、文化センター、会津能楽堂、史跡若松城跡及び茶室「麟閣」、町方伝承館、名勝会津松平氏庭園、歴史資料センター「まなべこ」

【その他】

コミュニティー施設（行仁、日新、城北、城西、松長、真宮、鶴城、城南、謹教）、勤労青少年ホーム、基幹集落センター

◆社会教育関係団体

区 分		団体数
青少年団体	地区子ども会	277
	スポーツ少年団	47
	レクリエーション関係	1
成人団体	公民館登録団体	337
	小・中学校父母と教師の会	31
	ユネスコ関係	1
各種体育・レクリエーション関係 (市体育協会加盟団体)		54
各種芸術・文化関係 (文連協加盟団体)		42

生涯学習の重点事業

◆子どもと子育て家庭を支える地域づくり

- ・地域学校協働本部事業（地域学校協働活動、放課後子ども教室）

◆生涯学習活動の支援

- ・會津稽古堂・まちづくり会津協働事業
- ・高・大・社連携事業
- ・生涯学習支援者養成事業
- ・生涯学習情報提供事業
- ・生涯学習総合センター管理運営事業

◆読書活動の推進

- ・図書資料等整備事業
- ・読書活動推進事業
- ・読み聞かせ・学校図書館ボランティア養成・活用事業
- ・学校図書館支援事業
- ・子ども読書活動推進事業（会津ビブリオバトル、会津図書館を使った調べる学習コンクール）
- ・会津若松市デジタルアーカイブ事業

◆地域における社会教育の推進

- ・住民参画による公民館事業
- ・公民館の管理運営事業

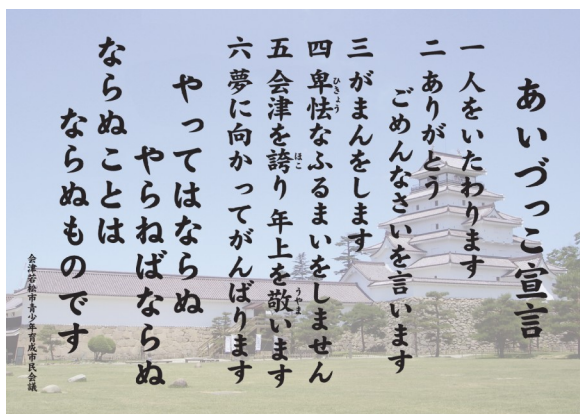
青少年健全育成の重点事業

◆少年の非行防止

- ・少年センター運営事業

◆青少年関係団体の活性化

- ・青少年の心を育てる市民行動プラン事業
- ・青少年健全育成事業



～ 大切にしたい” あいづの心”

つなぎ 育む あいづっこ宣言 ～

生涯学習総合センター・地区公民館

生涯学習総合センター【會津稽古堂】 (中央公民館・会津図書館)

◆生涯学習総合センター

- ・所在地 栄町3-50
- ・施設延面積 9,365㎡
- ・竣工 平成23年1月
- ・主な施設 多目的ホール、市民ギャラリー
音楽スタジオ、健康スタジオ
クッキングスタジオ
美術工芸スタジオ
研修室7室、和室、茶室
会津図書館

◆子どもの森

四季をとおして自然観察や体験学習ができる施設

- ・所在地 門田町大字黒岩字花見ヶ丘421-1
- ・施設延面積 101,384㎡
- ・開設 昭和53年11月
- ・主な施設 仮設トイレ
休憩所(事前予約)

◆主催事業(令和5年度)

【地域学校協働活動】

- 地域学校協働活動(4月～3月)
「第一中学校区地域学校協働活動」
「第二中学校区地域学校協働活動」
「第三中学校区地域学校協働活動」
「第四中学校区地域学校協働活動」
学校からの要請に応じ、地域で学校を支援するとともに、学校を核とした地域づくりを目指す。

- 放課後子ども教室
「あいづっ子1455」(5月～12月)
「城西っ子1455」(5月～11月)
「行仁っ子1455」(6月～10月)
放課後の時間を活用し、公民館や学校等で、小学生を対象に、地域住民を指導者とした体験学習などを実施し、地域ぐるみで子育てを支援することにより、子どもの健全育成を図る。

【教養課程 青少年】

- 図書館を使った調べる学習体験講座
(6月～7月)
「会津図書館を使った調べる学習コンクール」の応募に向けて、本を使った調べ方やまとめ方を具体的に指導・支援する。

- バンド講座(7～8月)

音楽スタジオにある楽器や機材の正しい使い方などの基礎知識を身につけ、音楽テクニックの向上を目指す初心者から経験者が安心して楽しめるレベルに応じたレッスン講座。

- 子どもの森活用事業(10月)

子どもの森の自然を生かして、親子で楽しめる「親子でキャンプin子どもの森」を開催し、「キャンプの疑似体験を通して、親子のコミュニケーションの場を提供するとともに、子どもの森の活用方法についての周知と利用促進を図る。

- 會津稽古堂・あいづ思春期サポーターの会協働事業「ピア・スペース」(4月～3月)

民間団体「あいづ思春期サポーターの会」との協働事業として、子どもたちの悩みに対し、医師・元教諭、大学生、市職員等が助言を行い、官民協働で子どもたちの健全育成を支援する。

- 親子で学ぶ「インターネットとプログラミング体験講座」(7月)

情報機器や人工知能を活用するにあたって必要とされる基本的な操作をはじめ、インターネット潜む危険な事例、個人情報の悪用、悪意あるインターネット利用者から自らの身を守る方法について学ぶ。

【教養課程 家庭教育】

- 家庭教育講座(10月～11月)

就学时健康診断の保護者の待機時間を活用し、親の心構えや子どものしつけ等に関する講座を実施し、家庭教育の充実を図る。

- PTA研修会(子育て応援講座)

(6月～10月)

生涯学習の視点に立ち、地域の教育力を高めるためのPTA活動や子どもたちの健全な成長について学習する。

また、研修をとおして各PTA間の交流を図り、新しいネットワーク作りを進める。

【教養課程 成人】

- 会津大学・會津稽古堂連携事業(6～1月)

会津大学の公開講座と連携し、大学の講義を一般市民向けに開催する。

- 會津稽古堂・まちづくり会津協働事業「つるし雛作ってみらんしょ飾らんしょ」(9月～2月)

地域商店街との幅広いネットワークを持つ株式会社まちづくり会津と連携し、商店街の協力を得ながら講座や展示会を開催していくことで、まちなかの活性化を進める。

- 漆蒔絵教室(5月～12月)

本市の伝統工芸のひとつである漆・蒔絵を理

論的・実践的に学ぶことにより、伝統産業への理解を深める。

- 立正大学デリバリーカレッジ（6月）
立正大学の大学教授等による様々な講義を開催し、多様な学習機会を提供する。
- はじめてのオンライン活用講座（10・11月）
公民館利用団体の会員等を対象に、活動や交流に活用できるオンライン会議システムの基本的な使い方を学ぶことができる機会を提供する。
- 本の夜会（10月）
中学生以上を対象とした読書イベントを閉館後の図書館内で開催し、日中の来館が困難な利用者へのPRを行うとともに、読書意欲の喚起と図書館利用を促進する。
- はじめての古文書（6月）
初めて古文書に触れる方を対象に、古文書に親しんでいただくとともに、古文書への興味・関心を喚起する。

【専門課程】

- 高・大・社連携事業
「みらいづ共創スターターズ」（7月～10月）
高校・大学・社会教育機関が連携し、高校生が国際協力の見地からSDGsを学ぶ講座を開催する。若い世代が社会の課題を「自分ごと」として認識することや「共創」する価値観の重要性を知り、将来のキャリアや可能性を考える機会を提供する。
- 古文書講座中級編（8月～10月）
古文書読解の中級レベルの知識を学ぶことにより、古文書への造詣を深め、解読者の養成を図るとともに図書館利用の拡大を図る。
- コーディネーター運営会議（4月～3月）
地域学校協働本部事業（放課後子ども教室、地域学校協働活動）に携わる地域学校協働活動推進員（コーディネーター）や公民館職員間の情報共有を行い、地域教育力を高めるための支援技術を学習し、資質向上を図る。
- 生涯学習講座（8月～11月）
生涯学習の基礎知識や地域活動のノウハウなどを学ぶことで、地域において地域活動や学習活動の核となる人材の育成を図る。
- 生涯学習おもしろ～くらぶとの連携事業（6・10月）
自立した学習活動を行う「生涯学習おもしろ～くらぶ」と連携し、市民向けの講座を行う。
- 学校図書館ボランティア養成講座（6月）
学校図書館の活性化を図るため、学校での読み聞かせの方法や図書の分類、装備、展示の方法など図書館の基礎的な知識を習得する。

- 読み聞かせ講座（8月～9月）
読み聞かせの大切さや楽しみ方及び、読み聞かせの技術について学習する。

【成果発表】

- 會津稽古堂まつり（9月30日）
會津稽古堂を拠点として活動している様々な学習団体が集い、日頃の活動成果の発表や団体間の交流を図る。
- 会津図書館を使った調べる学習コンクール（11月）表彰式
図書館の資料を活用した「調べる学習」に取り組み、主体的に学ぼうとする意欲を醸成するとともに、情報を活用する力を養成する。
- 会津ビブリオバトル（知的書評合戦）（11月）
読書によって得られた本との出会いや魅力、その本を読んで感じた思いなどについて発表することで、読書活動の充実と論理的思考力・表現力等を育むとともに、プレゼンテーション能力の向上を図る。

【体験活動】

- 絵本の音楽会（7月）
大きなスクリーンで絵本の映像を観ながら朗読を聞き、あわせて音楽を一緒に楽しむことで、絵本の魅力や物語の楽しさを伝えるとともに心豊かな時間を提供する。
- たのしい冬のおはなし会（12月）
絵本の読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居等で本に親しむきっかけづくりをする。
- たのしい春のおはなし会（3月）
絵本の読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居等で本に親しむきっかけづくりをする。
- 外国語のおはなしのへや（6・11月）
外国語の絵本の読み聞かせ、ゲーム等で本に親しむきっかけづくりをする。
- おはなし会（毎月第3日曜日）
絵本の読み聞かせ、紙芝居等で本に親しむきっかけづくりをする。
- ブックスタート事業（年間）
健康福祉部と連携し、4か月児健診会場において、読み聞かせを実施しながら絵本を手渡し、子育てにおける読み聞かせの大切さを保護者に伝える。
- 赤ちゃんおはなし会（毎月第1・3木曜日）
絵本の読み聞かせを行うとともに、子育てにおける絵本の読み聞かせの大切さや楽しさを伝える。
- 英語のおはなし会（4・8・10・12月の第1日曜日）
英語の絵本の読み聞かせを行い、本に親しむきっかけづくりをする。

○かたりべ会（毎月第2・4土曜日）

民話や伝説の昔語りを通じて、本に親しむきっかけづくりをする。

【学習情報提供】

○ライブリックシアター

（5～3月、10月を除く）

図書館所蔵のDVDや映像資料等の上映会を行い、芸術文化作品の鑑賞の機会を提供する。

○こどもの読書週間行事「ライブリックシアター」（4月）

図書館で所蔵している子ども向けの映像資料を大きなスクリーンで上映し、読書の動機づけを図るとともに、子どもたちへ物語や読書の楽しさを紹介する。

○會津稽古堂シネマ（10月）

中心市街地への人の流れの創出に向けて3日間、図書館所蔵の映画（DVD）を上映する。

○生涯学習情報誌発行

各公民館の情報を集めた公民館だより「郭公」や図書館だよりの発行。

○生涯学習指導者情報提供

市民の幅広い生涯学習のニーズに対応するため、知識や技術を持った指導者を登録・紹介する。

○生涯学習出前講座

市職員を講師として派遣し、市政や制度等について、講義・説明を行い、行政や政策についての理解と関心を深める。

○地域教育コーディネーター事業

地域の生涯学習活動における学習相談や講師紹介依頼などへの対応など、生涯学習活動に対する支援などを行う。

○會津稽古堂ツアー

小中学生を中心とした団体に対して、生涯学習総合センターの設置の目的や利用方法について解説する。

◆入館者数

区 分	4年度	3年度	2年度
生涯学習総合センター	395,829	328,475	308,618
会津図書館	232,877	207,981	205,811

◆利用状況

区 分	4年度	3年度	2年度	
中央公民館	回数	7,940	6,851	5,725
	人数	71,872	59,278	50,770
多目的ホール 市民ギャラリー	回数	662	567	456
	人数	33,752	22,181	21,267

【会津図書館の沿革】

○明治36(1903)年7月

文部省から設立認可を受ける。

○明治37(1904)年2月11日

栄町旧馬場口に、若松市立会津図書館として開館

※日本の市立図書館第1号

○昭和21(1946)年4月

栄町の旧会津物産陳列館跡に移転。

○昭和37(1962)年

自動車文庫「あいづね号」運行開始。

○昭和44(1969)年7月

城東町に新築移転し、開館。

○平成23(2011)年4月

生涯学習総合センター2階に開館。

○平成24(2012)年6月

5代目となる移動図書館「あいづね号」運行開始。

○令和3(2021)年3月

「あいづっこ読書活動推進計画(第三次会津若松市子ども読書活動推進計画)」策定。

○令和4(2022)年2月

「会津若松市デジタルアーカイブ」で会津図書館所蔵の古文書や絵図等をインターネット公開開始。

【概要】

◆一般図書フロアー（913㎡）

郷土・行政資料、視聴覚、新聞・雑誌、インターネットなどの各種コーナーとともに、中高生を対象としたティーンズコーナーを設置。閲覧・学習席数126席

◆こどもとしゃかん（390㎡）

書架の高さを低くし、親子ブースを設け、おはなしのへやコーナーを独立させ、インターネットも設置。閲覧・学習席数69席

◆学習スペース

自主学習のための独立した学習スペースを35席設置

【利用案内】

◆開館時間 月～土 午前9時～午後7時

日・祝日 午前9時～午後6時

◆休館日 年末年始 12月29日～1月3日

館内整備 月1日程度

特別整理 年7日程度

◆館内閲覧 自由閲覧

◆館外利用 会津若松市に在住・通勤・通学する者
会津地域に在住の者

◆貸出冊数 図書8冊まで、視聴覚資料2点まで

貸出期間 15日間

◆各種サービス

- ①予約サービス
- ②レファレンスサービス
- ③複写サービス
- ④リクエストサービス
- ⑤視聴覚資料の視聴利用
- ⑥インターネット用パソコンの利用
- ⑦持込パソコン席用コンセントの利用
- ⑧デジタルデータの閲覧
- ⑨商用データベースの閲覧
- ⑩国立国会図書館デジタル化資料の閲覧・複写
- ⑪ナクソス・ミュージック・ライブラリーの貸出
- ⑫グループ読書室の利用
- ⑬視覚障がい者等サービス（録音CDの貸出・対面朗読等）

◆移動図書館

主に市内周辺部、団地、周辺小学校の市民の方々を対象に、12コースに53ステーションを設置し、降雪期の1月・2月を除く火～金曜日と日曜日に運行している。

◆団体貸出

市内に所在する小・中学校、高等学校その他の教育機関、官公署、社会教育関係団体、社会福祉関係団体、読書会その他館長の認める団体に、1回100冊以内の図書を3か月間貸出している。

【統計】

◆令和4年度末蔵書冊数

本館 304,596冊
 ※雑誌148誌、新聞24紙
 移動図書館 26,674冊
 公民館図書室 47,220冊

◆令和4年度利用状況

区分		新規登録者数 (人)	貸出冊数 (冊)
本館	一般	976	314,560
	学生	64	11,414
	児童	561	81,482
	小計	1,601	407,456
移動図書館	一般	39	13,178
	児童	90	6,188
	小計	129	19,366
団体貸出(団体)		1	34

中央公民館神指分館

〈建築延面積〉 290.24㎡
 〈竣工〉 昭和52年10月
 〈主な施設〉 会議室、日本間、談話室、事務室

◆主な事業（令和4年度）

【地域学校協働活動】

- 放課後子ども教室「こうざしっ子」
 （6月～11月）
 昔遊び、レクリエーションなどを放課後に学校の体育館で楽しめます。
- 神指地区地域学校協働本部事業（4月～3月）
 学校と地域の協働により、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えます。

【成人教育】

- なるほど自然塾（5・10月）
 自然の中を散策しながら、様々な植物や自然の不思議にふれてみます。
- そば打ち体験教室（11・12月）
 初心者が対象の講座です。そば粉十割で作る自前のそばを味わいます。
- 顔晴れ！ふれあい大人塾（6月～11月）
 健康づくりや移動学習など、様々な体験学習をとおして参加者同士の交流を深めます。
- 歴史おもしろ塾（6月～11月）
 3人の講師が、テーマごとに座学と現地学習を組み合わせた形式で、会津の歴史をより多面的に学びます。
- いい音！ほのぼのコンサート
 プロの歌声や奏でる音色の美しさが創り出す豊かなハーモニーの世界を愉しむ。

【その他】

- 第39回神指地区文化祭（11月）
 地域住民の日頃の学習成果や発表の場を作り、もって地域住民と公民館利用者相互の協働による地域づくりの機会とします。

◆利用状況

区分		4年度	3年度	2年度
公民館	回数	772	701	654
	人数	5,860	5,164	4,205
図書	人数	12	17	15
	冊数	22	47	34

北公民館

◆主な事業（令和5年度）

【地域学校協働活動】

- 放課後子ども教室「永和いなほキッズ」
(6月～11月)
放課後、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが、地域社会の中で健やかに育まれる環境づくりを推進する。

- 第六中学校区地域学校協働活動（4月～3月）
第六中学校区（第六中学校、永和小学校、神指小学校）地域住民のボランティア協力のもと、小中学校活動への支援を行うことで、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、学校を核とした地域づくりをめざす。

【青少年教育】

- 中学生体験講座（8月・1月）
小学校卒業後も公民館を利用する青少年の輪を広げ、地域への愛情を育むため、地域の協力により体験学習を行い、世代間交流を通して健全育成に務める。また、ボランティア活動等を通して、地域活動に参加する機会を提供する。

【家庭教育】

- 週末親子チャレンジ（6月～12月）
親子がふれあいながら参加できる多彩な体験活動を通して、人とのかかわりや大切さを学ぶ機会を提供する。

【成人教育】

- 永和ものづくり楽校（6月～12月）
会津若松市及び永和地区に長年伝わってきた伝統行事や習俗などの生活文化について、その技術を学びながら理解を深める。
- 種からはじめるほうきづくり（6月～10月）
材料となる「ほうきもろこし」の種まきから収穫まで行い、さらに、ほうきの製作と一連の工程を体験することにより、伝統工芸を肌で感じ学ぶ。
- アクションレディース（5月～12月）
社会情勢の変化に対応した女性の生き方を学び、相互研修により豊かな生活と自己のスキルアップにつなげる。
- いなほふれあい学級（6月～11月）
高齢者として明るく楽しい豊かな人生を過ごすため、健康維持と学習意欲を高める。
- 町北高齢者学級（5月～12月）
生きがいをもって、地域社会活動に参加できるように心身ともに健康な高齢者をめざす。

【その他】

- 永和地区地域づくり協議会（4月～3月）
永和地区の身近な課題解決に向け、住民相互の協力のもと事業を実践し、連携・協働による地域づくりを推進する。
- 第44回北地区文化祭（共催事業11月）
住民の自主的な文化活動の活性化と、北地区の風土に根ざした文化の振興、地域住民の交流を図ることを目的とする。
- 民話口演会「第21回語る蕎麦から福きたる」
(共催事業12月)
北公民館主催事業を修了した民話三団体が日頃の学習成果を発表する。併せて地元そば会の提供する蕎麦を味わい、地域の方々の交流と地域の伝統文化に触れる機会を提供する。
- 北地区コンサート（9月）
北公民館登録団体によるボランティアコンサートを開催し、地域の方々に生演奏の素晴らしさと音楽鑑賞の機会を提供する。
- ロビー展（4月～3月）
北地区在住またはゆかりの作家や北公民館利用団体の協力を得て、館内ロビーにて作品展を開催し、広く一般市民に鑑賞の機会を提供する。
- 広報活動
広報誌「北公民館だより」の発行や市ホームページで、公民館事業の活動報告や行事予定、地域情報を発信することにより、地域内の情報の共有化及び交流を図る。

◆利用状況

区 分		4年度	3年度	2年度
公民館	回数	1,388	1,349	1,124
	人数	12,954	11,312	10,474
図 書	人数	280	352	355
	冊数	828	995	1,037

南公民館

〈敷地面積〉	3,270.48㎡
〈建築延面積〉	1,026.96㎡
〈竣工〉	昭和56年3月20日
〈主な施設〉	1階 会議室1・2、日本間1・2 託児室、図書室、ロビー
	2階 会議室3・4、視聴覚室、調理室

◆主な事業（令和5年度）

【地域学校協働活動】

- 放課後子ども教室「南チャレンジキッズ」（6月～10月）
放課後に公民館や小学校の体育館を借用し、スポーツや文化活動など、地域住民との交流等をとおして、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行う。
- 第五中学校区地域学校協働活動（4月～3月）
地域住民や各種団体の協力を得て、地域全体で子ども達の学びや成長を支え、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域の連携・協働により様々な学校支援活動を行う。

【青少年教育】

- みなこ一夢広場（6月～12月）
フィールドでの自然体験や会津の伝統工芸などの様々な体験をとおして、青少年が何事にもチャレンジする冒険心や体験を糧にして頑張る前向きな心を育み、子ども同士の交流を図る。

【成人教育】

- ふれあうよろずカフェ（5月～3月）
地域住民同士が活動を通して、楽しみながら気軽に交流できる場を提供し、学ぶ意欲を育むことを目的とする。また、一人暮らしの高齢者の居場所づくりに努める。
- 私のサラダ～SDGsを自分ごとに～（5月～7月）
「食」をテーマに専門家による講話や会津の食文化体験を通じて、楽しく生活に役立つ視点でSDGsを学び、持続可能な社会の実現について考える。
- 門田町再発見（5月～9月）
門田町の歴史や文化に触れながら、寺院等を訪ね、見学や散策をすることで、住み慣れた町の良さを再発見し、歴史や文化などの恵まれた地域資産を学ぶ。

【その他】

- 地域支援事業（4月～3月）
高齢者交通安全教室、小学生への昔遊び指導など、地域の各種団体と住民及び学校との連携をコーディネートする。
- 第3回もんだ横丁夏祭り（共催事業）
地区の子ども達の健全育成と世代間の交流、子ども会の会員拡大を図るため、縁日やおみこしなどを行い、地域の親睦の輪を広げる。（中止となりました。）
- 第63回門田地区大運動会（共催事業）
地区住民の健康増進に向けて、運動会をとおして参加者相互の交流を図る。（中止となりました。）
- 第40回門田地区文化祭（共催事業）
地区の自主的な文化活動の活性化を図り、個性豊かな文化の創造と発展に寄与するとともに、地区住民へ学習成果の発表と鑑賞の機会を提供する。（中止となりました。）

◆利用状況

区 分		4年度	3年度	2年度
公民館	回数	1,240	1,129	1,102
	人数	16,010	14,844	15,109
図 書	人数	801	920	798
	冊数	3,095	3,473	2,999

大戸公民館

〈敷地面積〉	2,985.00㎡
〈建築延面積〉	1,001.96㎡
〈竣工〉	昭和60年3月25日
〈主な施設〉	1階 講堂、会議室、ロビー 2階 講義室2室、和室2室、調理室

◆主な事業（令和5年度）

【地域学校協働活動】

- 放課後子ども教室「おとおっ子1455」（6月～10月）
放課後等に地域住民の指導と見守りのもと、学習・文化・スポーツ活動等を行う。
- 大戸地域学校協働活動（通年）
学校と地域の協働により、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える。

【青少年教育】

- わらべ塾（6月～10月）小学生対象
様々な体験や活動を通し、子どもたちの見聞を広めるとともに、自分で考える力を養う。

【家庭教育】

- 家庭教育講演会（10月）
子育てに関する、地域社会や親子関係について考え行動する情報の提供を行う。PTAと共催。

【成人教育】

- 通信俳句講座（5月～3月）
様々な理由により、外出な困難な方も、学習可能な通信形式を主としながら、俳句の知識向上と詠むちからを養う。
- 大戸の歴史講座（6月～10月）
大戸地区の歴史と文化に触れ合う講座を開催
- 大戸わくわく講座（6月～1月）
コンサート、映画上映、川柳、写真、料理等の学習体験を通じて、生涯学習意欲の向上と生きがいの創出を図る。
- 大戸いきいき講座（5月～2月）
軽運動、指圧、減塩講座、レクリエーション等の健康講座、介護予防講座を通じて、健康づくりと住民交流の促進を図るとともに、引きこもり高齢者の解消に繋げる。
- 生活安心講座（7月～12月）
防災、特殊詐欺、資産形成・資産運用等、大戸地域住民が将来に渡り安全安心に豊かな生活送れるようなきっかけづくりにする。
- eスポーツ倶楽部（6月～11月）
参加者の健康づくりと交流促進を目的とし、テレビゲームのボウリングをはじめとしたeスポーツが体験できる交流スペースを毎月2回開設する。また、年1回日頃の練習の成果が発揮

できるような交流大会を開催する。

【その他】

- 広報紙「大戸岳」の発行
毎月1日、大戸公民館の学習講座の募集や地域のさまざまな情報、各種機関・団体の予定等を掲載する。
- 第49回大戸町文化祭（11月）
学習成果発表、展示、出店（新型コロナウイルス感染予防のため、中止となる可能性あり）

◆利用状況

区 分		4年度	3年度	2年度
公民館	回数	509	445	331
	人数	6,071	4,855	3,524
図書	人数	58	64	104
	冊数	141	205	218

一箕公民館

〈敷地面積〉	3,503.00㎡
〈建築延面積〉	1,102.95㎡
〈竣工〉	昭和62年3月20日
〈主な施設〉	1階 会議室(仕切り可能)、児童室、図書室、ロビー 2階 講義室(仕切り可能)、日本間(仕切り可能)、会議室、調理室

◆主な事業（令和5年度）

【地域学校協働活動】

- 放課後子ども教室「まつながっ子1455」（6月～11月）
放課後に地域の人たちの参画を得て、スポーツ、文化活動、交流活動等の取り組みを通して、子どもたちの居場所を提供し、地域ぐるみでの子育てを推進する。
- 一箕中学校区地域学校協働活動（4月～3月）
地域と学校の連携・協働により、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域のコミュニティを活性化する。

【青少年教育】

- げんき塾（6月～12月）
学年の枠をこえた仲間づくりと、さまざまな体験活動を中心とした学習をする。

【成人教育】

- わたし塾（5月～12月）

文化活動や体験活動を通して、趣味や仲間づくりの機会を提供する。さらには地域や世代間の交流により、新しいつながりづくりを目指す。

○一箕シルバー大学（5月～12月）

高齢者の健康維持のための学習及び生活を豊かにする教養・趣味の活動を通して、生きがいある生活を目指す。

【その他】

○地域交流優志会（地域交流事業）

地域住民や団体の協働により、介護者や障がい者等への理解を深め合い、支援者等が地域の抱える課題等に向き合い、解決に向けて取り組むことのできる仕組みづくりを目指す。

○行け！メンズ倶楽部（地域交流事業）

地域住民との協働により、男性の生きがいを見つけるきっかけづくりのサロンを開催し交流を深める。

○第42回一箕地区文化祭（共催事業・10月）

地区住民の文化活動を奨励し、広く参加と鑑賞の機会を提供する。

◆利用状況

区 分		4年度	3年度	2年度
公民館	回数	1,491	1,240	1,045
	人数	13,205	10,052	8,393
図書	人数	1,507	1,122	811
	冊数	5,166	3,906	2,520

東公民館

〈敷地面積〉 2,203.91㎡

〈建築延面積〉 929.90㎡

〈竣工〉 昭和63年3月19日

〈主な施設〉 1階 会議室1・2（仕切り可能）、日本間1・2（仕切り可能）、図書コーナー、炉端コーナー
2階 会議室3、講義室1・2（仕切り可能）、調理室

◆主な事業（令和5年度）

【地域学校協働活動】

○放課後子ども教室

東チャレンジクラブ（6月～11月）

放課後に子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを

推進する。

○第二中学校区地域学校協働活動（通年）

学校からの要請に応じ、地域で学校を支援するとともに、学校を核とした地域づくりを目指す。

【成人教育】

○郷土史教室（6月～10月）

会津を中心とした郷土の歴史について学ぶ。

○東いきいき教室（5月～10月）

「いきいきとした生活は健康な体づくりから」をテーマに、軽体操、ものづくりなどを体験する。

○クラフト教室・初級（5月～7月）

環境にやさしいリサイクルクラフトテープを使って、初心者でも制作できるバッグづくりをする。

○クラフト教室・中級（9月～11月）

環境にやさしいリサイクルクラフトテープを使って、中級者向けのバッグづくりをする。

○地域交流館～ひがしカフェ～（4月～3月）

地域住民の方々との協働により作りあげた事業で、月2回の懇談会を通して、地域コミュニケーションの活性化を図る。

○季節の歳時記 ジャズコンサート（10月）

季節感を大切にしたいイベントとするため、十五夜に合わせて地元ジャズバンドの演奏会を開催する。

【その他】

○第32回東山地区文化祭（11月上旬）

地区住民の自発的な文化活動の活性化を図り豊かな文化の創造と発展に寄与するため、地区住民の活動を広く展示、披露する機会として開催する。

◆利用状況

区 分		4年度	3年度	2年度
公民館	回数	2,323	2,066	1,880
	人数	22,260	19,231	16,727
図書	人数	530	486	631
	冊数	1,265	1,037	991

段（言語＝文字・はなしことば）について学習し日々の生活に生かすことを目的とする。

湊公民館

〈敷地面積〉 1,984.00㎡
 〈建築延面積〉 548.75㎡
 〈竣工〉 平成12年10月30日
 〈主な施設〉 会議室・視聴覚室(仕切り可能)、
 図書室、地域づくり担い手室、
 学習情報相談室

◆主な事業（令和5年度）

【地域学校協働活動】

- 地域学校協働活動（4月～3月）
 地域全体で学校を支援し支えることで、学校が子どもたちに向き合うことに集中できる環境づくりと、参加するボランティアの方々への社会に貢献する喜びにつなげることを目指す。
- 放課後子ども教室
 「みなとっ子1455」（6月～12月）
 放課後の時間に子どもたちと地域住民が活動することで、地域のきずなづくりと児童の健全育成の支援を目指す。

【青少年教育】

- 湊★わんぱく教室（6月～2月）
 体験学習をとおり、自主性・積極性・奉仕の精神を養い、元気でたくましい子どもを育む。
- 読み聞かせタイム（4月～3月）
 かたりべの会をはじめとした地域の方々が、昔話や読み聞かせなどの活動を行い、子どもたちが地域に誇りを持ち、豊かな心を育てることを目指す。

【成人教育】

- 湊みのりの大学（6月～2月）
 明るく楽しい豊かな人生を送るため、健康な身体づくりと生きがいを求めながら相互の交流を図る。
- 子育て・孫育て教室 in MINATO（5月～12月）
 子どもたちの健やかな成長のため、学校・家庭・地域が一丸となって、子育て・孫育てについて学び、地域全体の教育力の向上を目指す。
- 湊なごみの広場（6月～2月）
 地域の女性リーダー養成と人づくり・まちづくりの動機づけと生涯学習活動の継続につなげる。
- ことのは講座（5月～9月）
 日常生活で意識せずに使っている情報伝達手

- ドライフラワー教室（5月～11月）
 地域を花で飾るため、種から育てる園芸実習とドライフラワーの手法の学習をとおり、仲間づくりと情報交換につなげる。
- よってカフェ（6月～3月）
 誰もが気軽に参加でき、楽しい時間を共有できる機会を公民館と地域に関わりのある方々との連携により創出することで、外出促進・健康寿命の延伸につなげる。

【その他】

- 地域ふれあい公民館（巡回公民館）
 公民館が集会所などに出向いて、生涯学習機会の提供や住民同士の交流を目的に、地域課題の解消、うたごえ活動、映画上映や健康増進講話など、地域活性化のきっかけ作りを目指す。
- 広報紙「湊のくに」発行
 館報として月1回、講座の募集情報及び実施結果や地域情報を掲載する。
- 湊地域交流再発見事業（農閑期に実施予定）
 地域文化や歴史や自然を活かしながら、他所との交流・住民の相互交流を深め、湊町の新たな産物の発見につなげる。
- サギソウ植栽講習会（4月）
 湊町の花である「サギソウ」について町内外の方々に理解していただくため、4月に植栽講習会を開催する。
- 湊町文化祭(共催事業・11月)
 住民の自発的な文化活動の活性化と個性豊かな文化の創造と発展に寄与する。

◆利用状況

区 分		4年度	3年度	2年度
公民館	回数	448	507	454
	人数	5,110	5,434	4,527
図 書	人数	326	209	290
	冊数	925	754	840

者に配慮した形での送迎バスの利活用などにより、地域の活性化を図る。

北会津公民館

〈敷地面積〉	3,345.00㎡
〈建築延面積〉	1,119.31㎡
〈竣工〉	昭和46年10月1日
〈主な施設〉	1階 大広間、和室、調理室 談話室（図書コーナー）、ロビー 2階 大ホール、研修室、ロビー

◆主な事業（令和5年度）

【地域学校協働活動】

○北会津中学校区地域学校協働活動（4月～3月）
地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し活動を行う。

○放課後子ども教室

「あらたてわんぱく遊び隊」（6月～10月）
「かわなみわんぱく遊び隊」（6月～10月）
放課後に地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む。

【青少年・家庭教育】

○小学生体験教室「ジャンプ」（6月～11月）
小学生にさまざまな活動を提供し、地域の魅力発見と郷土愛を育む。

○青年教室「パズル」（6月～2月）

青年層を対象とし、自己研鑽はもとより参加者同士の交流を図り、地域コミュニティの醸成と活性化、地域住民と行政が協働するまちづくりを進める。

○親子ふれあい活動「ぴかりんプール」

（7月～8月）

就学前の子どもと保護者同士のふれあいと情報交流の場を設け、子育て活動を支援する。

○公民館プラレール運転会（7月～3月）

児童生徒や園児、成人を含めた交流の場を提供する。

【成人教育】

○ことぶき大学（5月～12月）

自らの生活を管理しながら新しい知識を身につけ、自分の体験・経験を地域に還元することで「生きがい」を実感できるよう学習を進める。

○げんきに健康教室（6月～2月）

地域住民の健康・体力づくりを目的に、高齢

○フォークギター初級・中級講座（6月～10月）
「初級」・「中級」のクラス分けを明確化することで受講生のレベルアップを図るとともに、受講者間の交流を図る。

○80、90年代の音楽に浸る（6月～12月）

今、若い世代に注目されている80年、90年代の音楽を主体に、音楽鑑賞に特化した内容とし、なおかつ参加者同士の交流も深める。

○大人かわいいハンドクラフト（5月～11月）

さまざまな「かわいい」モノづくりを体験することにより、モノづくりに対する理解と関心を深め、趣味の範囲を広げる。

さらに、参加者の交流を図りながら、日常生活に豊かさと潤いを生み出すことを目指す。

【その他】

○お茶の間ひろば（5月～2月）

地域の人々の自由な居場所づくりを目的に、公民館利用団体や地域の方が講師になったりさまざまな公民館活動に参加・体験することで、参加者同士の交流をさらに深める。

○オーディオ工房（6月～2月）

音楽を楽しむとともに、オーディオ機器の楽しみ方にも視点を置き、音楽鑑賞だけにとどまらずオーディオ全体の楽しみ方を学び、なおかつ参加者同士の交流を図ることを目的とする。

自主団体移行に向けた指導を行う。

○地域ふれあい公民館「巡回公民館」（4月～3月）

地域コミュニティにおいて参加者同士の交流を目的に、町内会の集会施設に向いて活動を提供する。

○北会津文化祭（11月）

日頃の学習活動の成果の発表の場と位置づけ、広く各活動を紹介し生涯学習の普及、啓発を図るとともに、公民館を中心に活動する方々にふれあいの場を提供する。

◆利用状況

区 分		4年度	3年度	2年度
公民館	回数	927	759	552
	人数	10,488	7,940	5,631
図書	人数	216	368	298
	冊数	580	1,166	970

河東公民館

〈敷地面積〉	3,199.15㎡
〈建築延面積〉	1,063.54㎡
〈竣工〉	昭和51年6月1日
〈主な施設〉	1階 研修室、調理室、図書室 団体事務室、談話室
	2階 大ホール、和室、研修室

◆主な事業（令和5年度）

【地域学校協働活動】

- 放課後子ども教室「学園キッズクラブ」（6月～11月）
地域住民の協力のもと、文化活動、スポーツ活動、交流活動などを通して子どもが自由に安心して過ごせる場所を提供する。
- 河東学園地域学校協働活動（4月～3月）
地域と学校が連携し、地域全体で子どもたちの成長を支えるとともに地域コミュニティの活性化を図る。
- 夏休み移動教室（7月～8月）
学年をこえた地域の仲間たちと、様々な体験活動を行いながら交流を図る。

【青少年教育】

- 親子体験教室（7月・10月・12月）
様々な体験活動を通して親子の絆を深めるとともに地域との交流を図る。

【成人教育】

- まなびの部屋（5月～12月）
人生100年時代を迎え、健康維持の意識を高め、受講生同士の親睦を図る。
- 悠遊倶楽部（5月～12月）
同じ趣味を持つ市民同士の活動を通して、潤いの時間を過ごし、仲間づくりと各専門知識、技能等の向上を図る。書道・クラフト・フィットネス・藤工芸の4講座。
- てわっさ教室《匠の部屋》（6月～7月）
ものづくりを中心に様々なことを体験し新たな趣味や仲間を見つける。
- 暮らしに役立つスマホ講座（5月～6月）
スマートフォンの基本操作や知識を学び、日常生活の中で安全で便利に楽しく活用できるよう学習する。
- 食の世界ツアー（9月～12月）
世界の食文化について学び、その国の伝統料理に挑戦することで見聞を広め国際理解を図る。
- まち歩き《あいづ五街道》（6月～10月）
地域の歴史や文化を学びながら、地元の魅力を再認識することで、地域に誇りや愛着を持つ

とともに、住民同士の交流を図る。

【その他】

- 河東公民館出前講座（通年）
各地区で活動するグループや町内会などに呼びかけ、地区の要望に基づいた内容で出前講座を実施する。
- 河東公民館無料開放日
「よらんしょ・こらんしょ」（5月～2月）
気軽に公民館にお越し頂ける場所を提供するとともに、各自の学習活動や快適なライフスタイルのヒントを見つける。
- 河東公民館ギャラリー（通年）
公民館内のロビーを利用して、地域の方々が普段の学習の成果を披露できるコーナーを設ける。
- 文化産業祭（11月19日）
公民館利用団体を中心に学習活動の成果を持ち寄り、生涯学習の普及、啓発を図るとともに、地域の関係団体が一同に会し、各産業の振興及び福祉の向上を図る。
- 各種スポーツ大会（5月～12月）
スポーツを通して地区住民の体力向上と融和を図り明るく健康な地域づくりに努める。
- 第55回町民運動会（9月3日）
健全なスポーツ活動についての理解と関心を高め、地区住民の体力向上と相互親睦を図る。
- 第66回町内一周駅伝競走大会（11月5日）
地域の連帯感を高めるとともに、地区住民の健康保持・増進と地域間の親睦を図る。
- 第54回町民書初展（1月）
各地区子ども会育成会において、正月伝統行事の書初に取組んだ作品を展示し、子どもの健全育成を図る。
- ラジオ体操模範実習会（7月）
夏休み中、ラジオ体操を通して子ども達が健康で規則的な生活を過ごすことができるよう働きかける。
- ふれあい親子綱引大会（12月）
綱引競技への参加を通して、子ども達が連帯感や協調性を学びつつ体力づくりを図る。

◆利用状況

区 分		4年度	3年度	2年度
公民館	回数	1,139	906	807
	人数	12,897	10,365	9,027
図 書	人数	522	605	526
	冊数	1,481	1,662	1,652

文化行政

文化振興事業

豊かな創造性と魅力ある文化のまちをめざし、地域社会を取り巻く状況の変化や多様な市民ニーズに対応した文化芸術の環境づくりを進めるとともに、文化活動の促進を図る。

また、まちの豊かさや可能性を広げていく文化芸術の積極的な振興を図り、誰もが気軽に芸術作品等とふれあうことのできるよう、文化芸術に親しむ環境の充実を図る。

◆令和4年度の主な事業

●ふれあい美術展

市が収蔵する美術作品を市内の小学校で公開し、児童が身近な場所で気軽に美術作品とふれあえる美術展を開催した。（新型コロナウイルス感染症防止のため、一般へは非公開）

- ・行仁小学校（5月26日）
- ・謹教小学校（7月6日）
- ・城北小学校（7月7日）

●市民文化祭

*参加行事（9月から11月まで実施する行事）

*主催行事

- ・第3回 民謡・民舞の祭典（10月16日）
- ・第5回 日本文化に親しもう（11月6日）
- ・第47回 市民美術展（11月12日～20日）
- ・会津若松市民文化祭 第60回記念特別事業文化講演会（11月19日）

●あいづまちなかアートプロジェクト事業

（10月1日～11月6日）

まちなかに優れた芸術作品を公開し、市民の芸術文化に関する意識を育むとともに地域の活性化を図ることを目的に、会津の文化資源である漆を活用した「会津・漆の芸術祭」と市が収蔵する美術作品等を活用した「まちなかピナコテカ」を地域や関係機関と連携して開催した。

文化財

◆指定文化財（令和5年4月1日現在）

区 分		国	県	市	計	
有形文化財	建造物	4	4	7	15	
	美術工芸品	絵画	1	5	12	18
		彫刻	1	2	10	13
		工芸品	7	4	30	41
		書跡・典籍	0	2	7	9
		古文書	0	1	2	3
		考古資料	1	2	17	20
歴史資料	0	1	3	4		
無形文化財	工芸技術等	0	0	1	1	
民俗文化財	有形	1	0	3	4	
	無形	0	1	4	5	
記念物	史跡	4	1	13	18	
	名勝	1	0	0	1	
	天然記念物	2	1	12	15	
合 計		22	24	121	167	

◆登録文化財（令和5年4月1日現在）

区 分	国	県	市	計
有形文化財	42	-	-	42
有形民俗文化財	0	-	-	0
記念物	1	-	-	1
合 計	43	-	-	43

◆埋蔵文化財調査事業

本市の各地には、旧石器時代から近世までの遺跡が広く分布し、その数は約500遺跡にのぼっている。

近年の開発行為に伴い、市では遺跡の確認調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努めている。また、建物建設やほ場整備事業など各種事業に対処するため、埋蔵文化財の発掘調査を実施し、記録保存に努めている。

〈令和4年度の主な調査事業内容〉

- ・高野地区農地整備発掘調査事業
- ・本田地区農地整備試掘調査事業
- ・庁舎整備発掘調査事業

◆御薬園整備事業

御薬園は、昭和7年10月文部省から「名勝」の指定を受けている。徳川中期の築庭で、中央に心字の池があり、そのほぼ中央にある亀島に楽寿亭を建て、池辺には巧みに石を配し、樅、杉、松の大樹老木がそびえ、所々に伽羅木、五葉松の古木を点植し、磐梯山の遠望、東山の連山を背景とした大名庭型の山水庭として優れたものである。

地方自治法の一部改正に伴い、平成18年4月1日より指定管理者制度を導入し、御薬園の管理を一般財団法人会津若松市観光公社（現・一般財団法人会津若松観光ビューロー）に委託している。また、文化財庭園として保存を図るために、平成13年度から池の護岸整備事業を実施し、令和3年度に護岸整備報告書を作成した。

また、東日本大震災により、御茶屋御殿は、壁の剥落、柱の亀裂、建物全体の歪み等が生じた。このため、平成24年度、指導会議により修復方針を決定し、基本設計や年次計画作成を行い、平成25年度に実施設計、地質調査を実施した。

御茶屋御殿は、江戸期の建築部と明治期の増築部に分けられ、平成26・27年度に明治期増築部の修復を、平成28・29年度に江戸期建築部の修復を実施した。

また、令和4年度には楽寿亭屋根の茅葺き替えを行った。

◆赤井谷地保存整備事業

赤井谷地は、北方系の貴重な植物種の生育する高層湿原で、昭和3年に国の天然記念物に指定された。

近年、周辺環境の変化により、乾燥化が進んでいることから、平成4年に学識者による調査を開始し、平成7年度に調査報告書を刊行した。

また、調査結果に基づき、赤井谷地再生保存のための指針となる保存管理計画書を平成10年度に作成した。平成13年8月2日付けで管理団体に指定された。また、平成13年度には、指定地内の民有地の公有化を行った。

平成19年2月には、湿原の周辺部が追加指定になり、平成20年と令和3年に、その一部を公有化した。現在、湿原本体の保全と湿原内の植生回復を目指すために、計画書に示された諸策をもって環境整備を実施し、赤井谷地の保護保存事業を進めている。



貴重な植物群が現存する赤井谷地
(ホロムイイチゴ)

◆院内御廟保存整備事業

院内御廟は大きな規模と、荘厳な雰囲気を持ち、藩主は神式による葬送が行われている。江戸時代大名家墓所の中でも特に優れていることから昭和62年5月に国の「史跡」として指定を受けている。

平成13年12月に史跡保護のため公有化を行い、平成14年度には保存・管理・活用基本計画の策定を行った。

平成16年度に整備実施計画書を策定し、平成17年度から平成26年度にかけて、年次計画に基づき、樹木の整備・き損箇所・危険箇所・便益施設等の本格的な史跡内整備を行った。

平成27年度と平成29年度に石造物の現況調査を実施しており、史跡の維持管理を行いながら、調査の結果を元に、指導会議により今後の長期保存に向けた整備方針を検討している。

◆文化財の公開・展示

埋蔵文化財及び民俗品を、会津若松市歴史資料センター（愛称「まなべこ」）において展示し、市内の歴史や文化の学習の場としている。

また、発掘調査の際、特に重要と考えられる遺跡については現地説明会を実施し、遺構・遺物を公開し、文化財保護に対する啓発活動を行っている。

◆会津若松市の文化財

令和5年4月1日現在

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
○ 国指定文化財						
1	重文 (建造物)	旧滝沢本陣横山家住宅〔主屋・座敷〕	2棟	昭和46.3.11	一箕町	個人
2	〃	旧正宗寺三匠堂	1棟	平成7.6.27	一箕町	個人
3	〃	延命寺地藏堂(藤倉二階堂)	1棟	昭和25.8.29	河東町	延命寺
4	〃	八葉寺阿弥陀堂	1棟	昭和25.8.29	河東町	八葉寺
5	重文 (絵画)	絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図	1幅	平成3.6.21	城東町(福島県立博物館)	福島県
6	重文 (彫刻)	厨子入木造蘆名盛氏坐像	1軀	大正9.8.16	天寧寺町	宗英寺
7	重文 (工芸品)	椿彫木彩漆笈	1背	昭和39.5.26	城東町(福島県立博物館)	福島県
8	〃	金銅双龍双鳥文馨	1面	昭和34.6.27	七日町	金剛寺
9	〃	大刀鋒両刃造	1口	平成元.6.12	東栄町	個人
10	〃	大刀切刃造	1口	平成元.6.12	東栄町	個人
11	〃	大刀切刃造	1口	平成元.6.12	東栄町	個人
12	〃	大刀鑄造	1口	平成元.6.12	東栄町	個人
13	〃	大刀鑄造	1口	平成元.6.12	東栄町	個人
14	重文 (考古資料)	会津大塚山古墳出土品	一括	昭和52.6.11	城東町(福島県立博物館)	会津若松市
15	有形民俗文化財	八葉寺奉納小型納骨塔婆及び納骨器	14,824体	昭和56.4.22	河東町	八葉寺
16	記念物 (史跡)	会津藩主松平家墓所	—	昭和62.5.12	東山町	市・松平家 (会津若松市)
17	〃	若松城跡	—	昭和9.12.28	追手町、城東町、栄町、花春町	会津若松市
18	〃	大塚山古墳	—	昭和47.5.26	一箕町	会津若松市
19	〃	旧滝沢本陣	—	昭和45.3.16	一箕町	個人
20	記念物 (名勝)	会津松平氏庭園	—	昭和7.10.19	花春町	会津若松市
21	記念物 (天然記念物)	高瀬の大木(ケヤキ)	—	昭和16.1.27	神指町	高瀬財産区 (会津若松市)
22	〃	赤井谷地沼野植物群落	—	昭和3.3.24	湊町	市・農水省・個人 (会津若松市)
	小計	22件				
○ 県指定文化財						
1	重文 (建造物)	旧中畑陣屋主屋	1棟	昭和51.5.4	東山町	株素対館
2	〃	会津松平氏庭園石造三重塔	1基	平成7.3.31	花春町	会津若松市
3	〃	蒲生秀行廟	1棟	昭和61.3.31	館馬町	弘真院
4	〃	茶室麟閣	1棟	平成11.3.30	追手町(若松城本丸跡内)	会津若松市
5	重文 (絵画)	絹本着色仏涅槃図・如意輪観音像・愛染明王像	3幅	昭和36.3.22	大町	観音寺
6	〃	絹本着色松平楽翁像	1幅	昭和43.4.9	城東町(福島県立博物館)	福島県
7	〃	七里ヶ浜遠望図	1面	平成6.3.31	城東町(福島県立博物館)	個人
8	〃	絹本着色達磨図	1幅	平成10.3.31	城東町(福島県立博物館)	天寧寺
9	〃	絹本墨画著色寒山図・絹本墨画著色拾得図	2幅	平成10.3.31	城東町(福島県立博物館)	天寧寺
10	重文 (彫刻)	木造十一面観音立像	1軀	昭和33.8.1	門田町	明光寺
11	〃	銅造聖観音菩薩立像	1軀	昭和35.3.29	東山町	羽黒山湯上神社
12	重文 (工芸品)	鉄製注連(伝)	7枚	昭和28.10.1	追手町	諏方神社
13	〃	木造扁額「融通寺」	1面	昭和30.2.4	大町	融通寺
14	〃	太刀 銘 国宗	1口	昭和30.12.27	東栄町	個人
15	〃	青磁牡丹唐草文大瓶	1口	平成元.3.22	城東町(福島県立博物館)	福島県
16	重文 (典籍)	大般若経 経櫃 附 経箱 60口	600帖 6合	平成12.3.31	相生町	自在院
17	〃	家世実紀 附 目録 1冊・ 収納箱 5合	277冊	平成15.3.25	城東町(福島県立博物館)	福島県

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
18	重文(古文書)	築田家文書	一括	平成 13. 3. 30	城東町(福島県立博物館)	個人
19	重文(考古資料)	田村山古墳出土品	一括	昭和 28. 10. 1	城東町(福島県立博物館)	田村山地区
20		大戸窯跡群出土品	一括	平成 19. 4. 6	追手町(埋蔵文化財収蔵庫)他	会津若松市
21	重文(歴史資料)	陸奥国会津城絵図	1 鋪	平成 9. 3. 25	城東町(福島県立博物館)	福島県
22	無形民俗文化財	冬木沢の空也念仏踊	1 団体	昭和 47. 4. 7	河東町	空也光陵会
23	記念物(史跡)	大戸窯跡群	一	平成 10. 3. 31	大戸町	福島県ほか
24	記念物(天然記念物)	白山沼のイトヨ生息地	一	昭和 51. 5. 4	北会津町	会津若松市
	小計	24 件				

○ 市指定文化財

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
1	有文(建造物)	石造層塔	1 基	昭和 34. 4. 13	宮町	個人
2		善龍寺の山門	1 棟	平成 13. 1. 23	北青木	善龍寺
3		下荒井観音堂	1 棟	昭和 49. 4. 1	北会津町	宝寿院
4		両堂不動堂お籠り堂	1 棟	昭和 63. 5. 7	北会津町	両堂地区
5		蒲生氏郷五輪塔	1 基	平成 18. 4. 19	栄町	興徳寺
6		蒲生忠郷五輪塔	1 基	平成 18. 4. 19	中央	高巖寺
7		法紹山浄光寺釈迦堂	1 棟	平成 18. 4. 19	宝町	浄光寺
8	有文(絵画)	圓輪光曼荼羅	1 幅	昭和 34. 4. 13	川原町	弘長寺
9		伝李龍眼筆絹本羅漢像	1 幅	昭和 34. 4. 13	川原町	弘長寺
10		絹本着色両界曼荼羅図	双幅	昭和 49. 2. 13	城東町(福島県立博物館)	観音寺
11		絹本着色十六善神図	1 幅	昭和 49. 2. 13	城東町(福島県立博物館)	観音寺
12		絹本着色愛染明王像	1 幅	昭和 49. 2. 13	城東町(福島県立博物館)	観音寺
13		紙本水墨雪村周継筆瀟湘八景図 屏風	半双	昭和 51. 3. 22	七日町	金剛寺
14		愛宕神社奉納絵馬	4 面	昭和 53. 3. 16	慶山	愛宕神社
15		紙本着色帝鑑図屏風	1 双	昭和 56. 3. 28	東山町	株素対館
16		絹本着色伝保科正光画像	1 幅	昭和 56. 3. 28	建福寺前	建福寺
17		絹本着色伝保科正経画像	1 幅	昭和 56. 3. 28	建福寺前	建福寺
18		紙本淡彩遊魚図伝雪村筆	1 幅	昭和 61. 4. 24	七日町	金剛寺
19		八幡神社奉納絵馬	2 面	昭和 61. 4. 24	一箕町	八幡神社
20	有文(彫刻)	蒲生賢秀坐像	1 軀	昭和 33. 11. 10	追手町	恵倫寺
21		銅造阿弥陀如来立像	1 軀	昭和 50. 3. 25	川原町	弘長寺
22		木造阿弥陀如来坐像	1 軀	昭和 50. 3. 25	川原町	弘長寺
23		木造馬頭観音坐像	1 軀	昭和 51. 3. 22	大町	観音寺
24		木造文殊菩薩坐像	1 軀	平成 7. 6. 15	相生町	自在院
25		多門院毘沙門天像	1 軀	昭和 49. 4. 1	北会津町	寺堀地区
26		松命山蓮華寺須弥壇	1 基	昭和 49. 4. 1	北会津町	宝寿院
27	有文(彫刻)	極楽地藏(延命地藏)	1 軀	昭和 50. 4. 1	北会津町	上米塚地区
28		甲賀町鶴ヶ城稻荷神社神像	1 軀	平成元. 2. 22	馬場町	鶴ヶ城稻荷神社
29		天満大自在天神坐像	1 軀	令和 5. 3. 22	宮町	八角神社
30	有文(工芸)	刀剣(表銘 兼元)	1 振	昭和 33. 11. 10	中町	個人
31		刀剣(表銘 長道)	1 振	昭和 33. 11. 10	福島市	個人
32		刀剣(表銘 奥州会津住政長)	1 振	昭和 33. 11. 10	中央	個人
33		刀剣(表銘 奥州大掾三善長道)	1 振	昭和 33. 11. 10	追手町	会津若松市
34		刀剣(表銘 陸奥大掾三善長道)	1 振	昭和 33. 11. 10	東栄町	個人
35		会津漆器	一式	昭和 36. 11. 18	追手町	個人
36		刀剣(表銘 和泉守兼定焼刃真宗鉄鍛造之)	1 振	昭和 36. 11. 18	東山町	株素対館

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
37	〃	刀剣(表銘 陸奥会津住三善藤四郎長道)	1 振	昭和 36. 11. 18	東栄町	個人
38	〃	刀剣(表銘 奥州会津住長国)	1 振	昭和 36. 11. 18	中央	個人
39	〃	刀剣(表銘 奥州会津住政長)	1 振	昭和 36. 11. 18	東京都多摩市	個人
40	〃	刀剣(表銘 陸奥会津住三善長道)	1 振	昭和 36. 11. 18	城南町	個人
41	〃	田中正玄夫人副葬膳腕一式	一式	昭和 51. 3. 22	城東町 (福島県立博物館)	妙国寺
42	〃	朱塗瓶子	1 対	昭和 55. 3. 29	宮町	八角神社
43	〃	能面	6 面	昭和 55. 3. 29	城東町	会津能楽会
44	〃	刀剣(表銘 和泉守藤原兼定)	1 口	昭和 60. 3. 23	東山町	(株)エフエフ
45	〃	会津正阿弥鐺	3 枚	昭和 60. 3. 23	東栄町	個人
46	〃	会津正阿弥鐺	3 枚	昭和 60. 3. 23	中町	個人
47	〃	銅造懸佛	1 面	昭和 60. 3. 23	相生町	自在院
48	〃	銅造薬師如来坐像	1 軀	昭和 60. 3. 23	相生町	自在院
49	〃	銅造懸佛	1 面	昭和 60. 3. 23	大町	弥勒寺
50	〃	木造扁額「稻荷大明神」	1 点	平成元. 2. 22	馬場町	鶴ヶ城稻荷神社
51	〃	木造扁額「正一位稻荷大明神」	1 点	平成元. 2. 22	馬場町	鶴ヶ城稻荷神社
52	〃	鞘塗「変塗」標本	154 枚	平成 2. 3. 16	徒之町	県立会津工業高等学校
53	〃	枝菊漆絵会席膳腕一式	34 点	平成 2. 3. 16	追手町	会津若松市
54	〃	初代・若狭守藤原道辰作受領紀年銘大小刀	2 振	平成 20. 4. 21	追手町	会津若松市
55	〃	林光正作漆塗手板	1 枚	平成 20. 4. 21	追手町	会津若松市
56	〃	花瓶	1 対	昭和 58. 11. 10	北会津町	常德寺
57	〃	自然山融通寺梵鐘	1 点	平成 28. 6. 22	大町	融通寺
58	〃	刺繍仏涅槃図 付 漆塗木箱	1 幅	令和 2. 4. 23	城東町 (福島県立博物館)	個人
59	〃	木造天部形立像	1 軀	令和 4. 1. 21	中央	高巖寺
60	有文(書跡)	蒲生氏郷書簡	1 通	昭和 33. 11. 10	追手町	恵倫寺
61	〃	一休墨蹟	1 幅	昭和 33. 11. 10	七日町	個人
62	〃	松平容保・照姫より萱野権兵衛宛書簡・和歌・覚	各一葉	昭和 34. 4. 13	城東町 (福島県立博物館)	福島県
63	〃	草書十八名号	3 幅	昭和 34. 4. 13	川原町	弘長寺
64	〃	大曼陀羅御本尊日什上人真筆	1 卷	昭和 54. 3. 22	一箕町	妙国寺
65	〃	旧東明寺藏葦名盛氏文書	1 幅	昭和 57. 3. 24	川原町	弘長寺
66	〃	葦名止々齋書状	2 幅	平成 11. 2. 18	宮町	個人
67	有文(古文書)	芦名兼載軸物	1 卷	昭和 55. 4. 1	北会津町	八幡神社
68	〃	八幡神社棟札	3 枚	昭和 55. 4. 1	北会津町	八幡神社
69	有文(考古資料)	岩倉山石造塔婆	4 基	昭和 51. 3. 22	湊町	舟木地区
70	〃	石仏供養碑	1 基	昭和 54. 3. 22	一箕町	会津若松市
71	〃	観応年記銘供養碑	1 基	昭和 54. 3. 22	湊町	上馬渡地区
72	〃	阿弥陀如来像供養碑	1 基	昭和 54. 3. 22	栄町	興徳寺
73	〃	墓料遺跡出土土器 (昭和 49・54 年出土分)	45 点	昭和 57. 3. 24	追手町	市教育委員会 (保管)
74	有文(考古資料)	東田面供養碑	3 基	昭和 58. 3. 24	湊町	東田面地区
75	〃	石仏供養碑	1 基	昭和 62. 5. 8	北会津町	今和泉地区
76	〃	館山供養碑	2 基	平成 9. 3. 18	湊町	個人
77	〃	坂本供養碑	2 基	平成 9. 3. 18	湊町	個人
78	〃	応長の碑	1 基	昭和 45. 6. 8	河東町	代田地区
79	〃	暦応の碑	3 基	昭和 45. 6. 8	河東町	会津若松市
80	〃	観応の碑	1 基	昭和 45. 6. 8	河東町	冬木沢地区
81	〃	皆鶴姫の碑群	6 基	昭和 62. 2. 3	河東町	会津若松市
82	〃	須恵器の舟形二面硯	1 点	平成 3. 4. 25	追手町	会津若松市
83	〃	古屋敷(富田屋敷)の大甕	1 点	平成 3. 4. 25	追手町	会津若松市

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
84	〃	石製模造品	6点	平成 3. 4. 25	追手町	会津若松市
85	〃	郡山遺跡出土遺物	66点	令和 5. 3. 22	城東町 (歴史資料センター)	会津若松市
86	有文 (歴史資料)	若松城下絵図	半双	平成 11. 2. 18	栄町	個人
87	〃	牡丹獅子図金屏風	1双	平成 16. 4. 19	栄町	個人
88	〃	日新館資料群	80点	平成 24. 2. 20	栄町	個人
89	無文 (工芸技術)	会津塗	1団体	平成 31. 3. 25	大町	会津塗技術保存会
90	有形民俗文化財 (民俗資料)	酒造用具	107点	昭和 57. 3. 24	材木町	会津酒造博物館
91	〃	獅子舞資料	一括	昭和 58. 3. 24	高野町	橋本木流地区
92	〃	稲荷原の石工用具及び石製品	72点	平成 3. 4. 25	河東町	会津若松市
93	無形民俗文化財 (民俗)	会津三匹獅子舞	3団体	平成 16. 2. 23	天寧・下居合・本滝沢	地区保存会
94	〃	小松彼岸獅子	1団体	昭和 47. 4. 1	北会津町	小松地区
95	〃	槻橋彼岸獅子舞	1団体	昭和 50. 4. 9	河東町	槻ノ木地区
96	〃	八田野神楽	1団体	平成 3. 4. 25	河東町	八田野神楽保存会
97	記念物 (史跡)	天文台跡	—	昭和 43. 9. 18	米代	会津若松市
98	〃	葦名家花見ヶ森廟所 (16・17・18代墳墓)	—	昭和 47. 11. 1	花見ヶ丘	会津若松市
99	〃	村北瓦窯跡	—	昭和 47. 11. 1	大塚	会津若松市
100	〃	蒲生秀行公廟所	—	昭和 53. 7. 10	館馬町	弘真院
101	〃	穴切の一里塚	1基	昭和 61. 4. 24	湊町	個人
102	〃	長命寺築地塀	—	昭和 5. 9. 16	日新町	長命寺
103	〃	旧会津藩大窪山共同墓地	—	平成 12. 1. 20	門田町	財務省
104	〃	田村山古墳	—	昭和 47. 4. 1	北会津町	田村山地区
105	〃	上人壇	1基	昭和 53. 4. 1	北会津町	古麻生地区
106	〃	古屋敷古墳群	3基	昭和 49. 5. 15	河東町	個人
107	〃	八田野一里塚	2基	昭和 44. 9. 19	河東町	八田野地区・東京電力
108	〃	藤倉の館跡	—	昭和 47. 1. 21	河東町	個人
109	〃	堂ヶ作山古墳	—	平成 19. 7. 20	一箕町	55名共有
110	記念物 (天然記念物)	石部桜	1本	昭和 43. 9. 18	一箕町	会津若松市
111	〃	太夫桜	1本	昭和 43. 9. 18	一箕町	会津若松市
112	〃	赤井の大イチョウ	1本	昭和 49. 2. 13	湊町	個人
113	〃	建福寺境内のシダレザクラ	1本	昭和 55. 3. 29	建福寺前	建福寺
114	〃	峰張ザクラ	1本	平成 9. 3. 18	蚕養町	蚕養国神社
115	〃	芦ノ牧のイチイ	1本	平成 10. 2. 19	大戸町	個人
116	〃	平田の櫨の木	1本	昭和 47. 4. 1	北会津町	宝寿院
117	〃	白山沼のイトヨ	—	昭和 47. 4. 1	北会津町	下荒井地区
118	記念物 (天然記念物)	無頭沼のイトヨ	—	昭和 63. 5. 7	北会津町	今和泉地区
119	〃	小出の樅の木	1本	昭和 49. 4. 1	北会津町	蟹川地区 (宝光院境内)
120	〃	ホタルの森のゲンジボタル	—	平成元. 6. 15	北会津町	会津若松市
121	〃	熊野神社三幹のスギ	1本	平成 2. 11. 9	北会津町	下荒井地区
	小計	121件				

○ 国の登録文化財

	種 別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者 (管理団体)
1	有形文化財	向瀧旅館 4 棟	1 カ所 (4 棟)	平成 8. 12. 20	東山町	(株)向瀧
2	〃	林家住宅	1 棟	平成 10. 12. 11	材木町	個人
3	〃	日本基督教団若松栄町教会	1 棟	平成 12. 4. 28	西栄町	(宗) 日本基督教団 若松栄町教会
4	〃	旧鍋三本店 (星野家住宅)	1 カ所 (2 棟)	平成 29. 10. 27	材木町	個人
5	〃	末廣酒造嘉永蔵	建造物 6 棟 工作物 3 件	平成 30. 11. 2	日新町	末廣酒造
6	〃	平田家住宅	3 棟	平成 30. 11. 2	行仁町	個人
7	記念物	会津飯盛山白虎隊士墳墓域	1 件	平成 31. 2. 26	一箕町	(公財) 会津弔霊義 会
8	有形文化財	福西本店	6 棟 工作物 1 件	令和元. 12. 5	中町	会津若松まちづくり (株)
9	〃	竹藤	4 棟	令和元. 12. 5	中央	個人
10	〃	仙峡閣	1 棟	令和元. 12. 5	大戸町	(有) 仙峡閣
11	〃	鈴木屋利兵衛	2 棟	令和 3. 2. 4	大町	個人
12	〃	関善吉薬局	1 棟	令和 3. 2. 4	川原町	個人
13	〃	鈴善	7 棟	令和 3. 10. 14	中央一丁目	個人
	小計	43 件	(38 棟・工作物 4 件・記念物 1 件)			

歴史資料の調査と研究・市史研究

歴史資料センター

会津図書館が生涯学習総合センター(會津稽古堂)に移転したことに伴い、鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想に基づき、歴史資料等の保管・管理をはじめ郷土の歴史に関する調査・研究や展示施設として建物の利活用を検討してきた。

そして、施設名称を「会津若松市歴史資料センター」と定め、「先人に憧れ、郷土に誇りを持つ学びの場」をコンセプトとして平成26年7月にプレオープンした。施設の一般公開に先立ち、愛称を公募し、「まなべこ」とした。その後、企画展示室と講義・学習スペースを整備し、平成27年9月13日に全館開館した。

歴史資料センターでは、市民や観光客からの郷土の歴史・文化に関する問い合わせに対するレファレンス窓口を設置している。また、歴史資料の保管や研究拠点としての機能の他に、広く会津の歴史・文化について情報発信していく役割を持った施設として運営している。

◆施設

- 〈建設年月〉 昭和44年7月
- 〈敷地面積〉 2493.39㎡
- 〈延床面積〉 1635.67㎡
- 〈構造〉 鉄筋コンクリート造3階建
地下1階
- 〈書庫〉 積層5層

市史編さん事業

◆第1次市史編さん事業

昭和16年から「若松市史」上・下巻を発刊

◆第2次市史編さん事業

昭和42年から「会津若松史」12巻・別巻1(大塚山古墳)を刊行

◆第3次市史編さん事業

平成9年から平成21年度までに会津若松市史編さん事業計画・全体刊行計画により、55巻を刊行

◆北会津村史編さん事業

平成16年度に合併した際に継続事業として実施し、本編3巻、史料目録2巻を刊行

第3次市史編さん事業の経過

平成11年の会津若松市制百周年を記念し、後世に誇りうる郷土の歩みを集大成し、市民共有の文化遺産としてこれを継承していくために第3次「会津若松市史」の編さんが、平成9年度より平成21年度までの13カ年にわたり取り組まれた。

この編纂にあたっては、歴史研究の人材の発掘、養成も視野にいれながら、市内外の各種研究団体の専門家、学識経験者等による「会津若松市史研究会」を発足させ、これに編さんを委託し実施した。

第3次市史編さん業務は、平成21年度までは秘書広聴課が担当し、平成22年度は会津図書館が担当した。

◆市史研究継続の必要性

市史編さんの全体刊行計画による出版物の刊行は終了したが、収集された資料の解読・検証研究は、その一部が整理・保存されたに過ぎない。

今日のめまぐるしく変貌を遂げる社会状況の変化の中、会津地方には散逸消滅が危惧される多くの未調査貴重文書が残されているが、これらの資料についても、市史編さん事業で収集された資料文書とともに解読・調査・保存していくことが、歴史的文化遺産を次代に継承することにつながる。

また、古文書研究は一朝一夕に出来るものではなく、その解読や調査を行うためには歴史的専門知識を必要とするため、専門知識を有する個人に委嘱する形で、古文書等の資料所在調査・収集・解読・検証・保存を継続して実施していく。

公益財団法人 会津若松文化振興財団

財団設立の趣旨

地域住民の芸術文化活動は、多方面にわたり活発となり、地域住民自らが主体的に参加する参加型の芸術文化活動の範囲が広がってきている。このため、文化的な生活環境の整備や文化活動の向上に資する環境づくりが強く求められている。

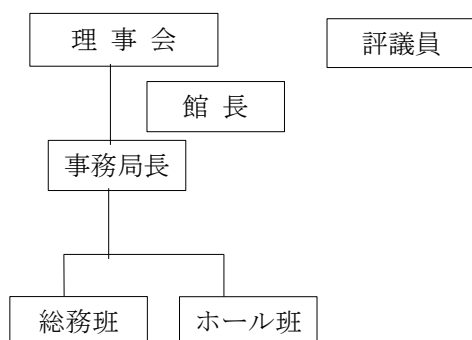
そこで、芸術文化活動への機運を大切にし、さまざまな芸術文化に接する機会や学習の場を提供するとともに、自主的な芸術文化活動を支援していくことなどの積極的な芸術文化の振興を図るため、これまで以上に専門的な知識や経験の必要性、さらには、文化施設のより柔軟で効率的な運営体制が必要となってきている。

そのため、自主文化事業の企画実施や地域文化創造の活動、自主的な芸術文化活動への支援を通して、地域文化の振興及びこころ豊かな人間の育成を図り、もって豊かな地域文化の形成と発展に寄与することを目的に「財団法人会津若松文化振興財団」を設立したものである。

沿革

平成5年5月19日	設立許可書交付
平成5年5月27日	設立登記
平成6年4月1日	會津風雅堂の管理運営を受託
平成6年6月27日	會津風雅堂開館
平成15年4月1日	文化センターの管理運営を受託
平成18年4月1日	會津風雅堂・文化センターの指定管理者として両施設の管理運営を開始
平成25年4月1日	公益財団法人へ移行
平成26年4月1日	会津能楽堂を含め3施設の指定管理者として管理運営開始

組織



主な事業

事業の概要については、文化施設を拠点とした芸術文化の振興と、市民文化の創造に寄与するための支援を2本の柱として以下の事業を行っている。

(1) 芸術文化鑑賞促進事業

財団自らが企画した公演事業を展開し、低料金で幅広い芸術文化鑑賞の機会の提供を図る。

(2) 文化のまちづくり事業

地域に根ざした文化の創造を目的に、市民にとって見る側としての芸術文化の鑑賞にとどまることなく、自らが演じる側となるよう事業を展開する。

具体的には、演劇などの創作をする。それらを通して市民の連帯意識と舞台技術等の向上を図り、より一層の文化の普及に努める。

(3) 文化情報提供事業

財団の行う催事はもとより、広く各文化施設の行う催事などを案内していくことや、各種の文化団体等が取り組んでいる事業内容を広く情報として提供し、地域文化の振興に資する。

(4) 舞台芸術技術振興事業

舞台芸術技術に関心のある方々を対象に、舞台芸術に関する講習会や実技研修会を開催し、知識及び技術の習得を図る。

(5) 文化振興基金運営事業

文化振興基金の運用により、市民団体等の文化活動へ助成金による支援を行う。

(6) 文化施設管理運営事業

地域文化創造活動の拠点となる文化施設（會津風雅堂、文化センター、会津能楽堂）について、会津若松市より指定管理者の指定を受け、管理運営を行う。

◆令和4年度の主な自主企画事業

- ・小中学生芸術鑑賞教室
キッズシアター（6月24日）
東京芸術座「未来」（7月1日）
- ・美術展
新しいAIZUの美術展（10月6日～12日）
- ・舞台公演
DRUM TAO 2022年新作舞台「KAIKI」（10月12日）
ほか ワークショップなど

會津風雅堂

會津風雅堂は、地域の芸術文化活動の振興と施設

の利用を主な業務とし、ひいては文化情報発信基地及び独自性のある活動を行う公共文化ホールとなるよう設置された。

令和4年度より新たに4年間、多角的な取り組みで芸術文化の振興を目的とする「公益財団法人会津若松文化振興財団」が指定管理者としての指定を受け、適正かつ効率的で柔軟性のある運営により、個性的で魅力ある芸術文化の創造、地域文化向上の拠点として「地域住民から愛される會津風雅堂」を目指している。

◆施設

〈設置主体〉	会津若松市
〈建設費〉	4,832,682千円
〈開館〉	平成6年6月27日
〈建築構造〉	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上5階地下1階
〈延床面積〉	7,306.66㎡
〈付属施設〉	
・ホール	固定席1,752席(1階1,152席、2階600席)車イス席6席
・舞台形式	プロセニウム形式(間口20m、高さ10m、奥行き17m)
・舞台面積	922.9㎡(有効面積約800㎡)
・舞台設備	オーケストラピット、音響反射板(走行式)
・楽屋	8室(大、中、小、個室※各和洋2室)、シャワー室(2室) 楽屋事務所
・付属室	リハーサル室、会議室2室(和洋)
・その他	エントランスホール、ホワイエ、喫茶コーナー、談話コーナー、託児室、休憩室、打合室、事務室、コインロッカー

◆利用状況

区 分		4年度	3年度	2年度
ホール	日数(日)	182	143	74
	人数(人)	69,325	43,869	17,757
リハーサル室	日数(日)	152	113	62
	人数(人)	3,562	3,218	1,270
会議室(洋室)	日数(日)	109	96	54
	人数(人)	845	696	362
会議室(和室)	日数(日)	84	81	46
	人数(人)	338	287	179

文化センター

文化センターは、市民の文化の振興を図るため、音楽、演劇、舞踏、美術等の芸術文化活動の普及振興のため利用されている。令和4年度より新たに4年間、「公益財団法人会津若松文化振興財団」が指定管理者の指定を受け、その管理運営を行っている。

◆施設

〈設置主体〉	会津若松市
〈工事費〉	588,848千円
〈開館〉	昭和53年11月22日
〈建築構造〉	鉄筋コンクリート造地上3階
〈延床面積〉	2,564.10㎡
〈主な施設〉	文化ホール、展示兼会議室、ホワイエ、特設展示場、音楽練習室、美術実習室、練習室
〈付属設備機器〉	能舞台、所作台、音響反射板スクリーン、ピアノ(フルコンサート、アップライト)、音響機器、照明設備

◆利用状況

区 分		4年度	3年度	2年度
文化ホール	日数(日)	200	146	106
	人数(人)	21,628	12,982	6,828
その他各室	日数(日)	882	574	489
	人数(人)	21,242	11,650	8,514

会津能楽堂

会津地域における伝統文化の継承・育成を図るため、能をはじめとする伝統文化や幅広い民俗芸能などの研修施設として設置した。

令和4年度より新たに4年間、「公益財団法人会津若松文化振興財団」が指定管理者の指定を受け、その管理運営を行っている。

◆施設

〈設置主体〉 会津若松市

※平成21年8月19日一般社団法人
会津能楽建設協会より寄附

〈所在地〉 会津若松市文化センター隣り

〈施設概要〉 木造平屋建銅板葺
能舞台・研修室・給湯室・トイレ

〈延床面積〉 238.47㎡

〈供用開始〉 平成21年10月1日

〈使用料〉 6,480円～8,640円（4時間単位）
研修室のみ 1,080円（4時間以内）

◆利用状況

区 分		4年度	3年度	2年度
全 館	人数(人)	1,325	489	363
研修室	人数(人)	361	316	271

社会体育

スポーツ推進基本計画

◆「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも、スポーツを楽しむことができるまち」

スポーツ振興法が全面改正し、新たにスポーツ基本法が制定され、国においてはスポーツ基本計画、県においてもスポーツ推進基本計画が策定された。本市においては、第7次総合計画を踏まえ、市民が「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」気軽にスポーツに親しみながら、健康で豊かな生活を送ることができる社会の実現を目指した「会津若松市スポーツ推進基本計画」を策定した。平成29年度を初年度に10年を期間とし、本市の実情に応じたスポーツ推進施策を体系的、計画的に推進している。

- ・使用施設 あいづ総合体育館、河東総合体育館、武徳殿、弓道場、あいづドームほか
- ・関係団体 各実施種目団体

- 第67回市民スキー大会（2月4日）
 - ・内容 部門別、男女別アルペン競技会
 - ・使用施設 猫魔スキー場
 - ・関係団体 市民スキー大会実行委員会

◆本市で開催される主な大会（令和5年度）

- 全会津総合体育大会 18種目
- 東日本少年剣道大会
- うつくしまトライアスロン in あいづ

社会体育事業

◆令和5年度の主な事業

- 地域スポーツ大会北会津方部大会
 - ・内容 ソフトテニス、家庭バレーボール、バドミントン、壮年ソフトボール、テニス、卓球
 - ・使用施設 会津総合運動公園ほか
 - ・関係団体 北会津管内体育協会連絡協議会
- 第70回市民水泳大会
 - ・内容 部門別種目別水泳競技会
 - ・使用施設 会津水泳場
 - ・関係団体 市民水泳大会実行委員会
- 第35回会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会
 - ・内容 部門別男女別マラソン大会
 - ・使用施設 会津総合運動公園ほか
 - ・関係団体 第35回会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会実行委員会
- 第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（11月19日）
 - ・コース 白河市～福島県庁（16区間）
 - ・関係団体 会津若松市陸上競技協会
- 第68回市民体育祭（2月4日）
 - ・内容 剣道、なぎなた、卓球、バドミントン、ミニバスケット、家庭バレーボール、弓道、柔道、ソフトテニス

学校体育施設開放事業

スポーツ基本法第13条及び社会教育法第44条第1項に基づき、社会体育振興の一環として体育施設（体育館、校庭）を学校教育活動に支障のない範囲で、一般市民の健全な余暇利用の場として、体づくり、スポーツレクリエーション活動に供する。

◆開放校

No.	開放校	校庭	校庭夜間	体育館
1	鶴城小学校	○	—	○
2	城北小学校	○	—	○
3	行仁小学校	○	—	○
4	城西小学校	○	—	○
5	謹教小学校	○	—	○
6	日新小学校	○	—	○
7	湊小学校	○	—	○
8	一箕小学校	○	—	○
9	松長小学校	○	—	○
10	永和小学校	○	—	○
11	神指小学校	○	—	○
12	門田小学校	○	—	○
13	城南小学校	○	—	○
14	大戸小学校	○	—	○
15	東山小学校	○	—	○
16	小金井小学校	○	—	○
17	荒舘小学校	○	—	○
18	川南小学校	○	—	○
19	河東学園(前期課程)	○	—	○
20	第一中学校	○	—	○

21	第二中学校	○	—	○
22	第三中学校	○	—	○
23	第四中学校	○	—	○
24	第五中学校	○	—	○
25	第六中学校	○	○	○
26	湊中学校	—	—	—
27	一箕中学校	○	—	○
28	大戸中学校	—	—	—
29	北会津中学校	○	—	○
30	河東学園(後期課程)	○	—	○
	合 計	28校	1校	28校

◆開放日及び開放時間

● 開放日

社会体育振興の一環として、市内小・中・義務教育学校の体育館校庭について、学校教育活動に支障がない範囲で、地域スポーツ普及のため市民の利用に供する。

● 開放期間

- ・ 体育館開放 5月～2月
- ・ 校庭開放 5月～11月
- ・ 校庭夜間開放 5月～11月
(六中のみ)

● 開放時間

- ・ 体育館 ① 9:00～12:00 ② 13:00～16:00
③ 18:00～21:00
- ・ 校庭 ① 5:00～8:00 ② 9:00～12:00
③ 13:00～16:00 ④ 19:00～21:00

総合型地域スポーツクラブ育成事業

市民の誰もが生涯の各時期にわたりスポーツに親しむことができる住民主体の「総合型地域スポーツクラブ」を本市独自の地域スポーツ組織である地区体育連盟を核に育成する。

総合型地域スポーツクラブ

地域住民が主体的に運営し、子どもから高齢者、障がい者まで様々なスポーツを愛好する人々が参加できるクラブで以下の特徴をもっている。

- ・ 多種目、多世代、多志向であり、だれでも参加できる。
- ・ 活動拠点であるスポーツ施設、クラブハウスがあり、計画的な活動を行う。
- ・ 質の高い指導者の下、適切な指導が受けられる。
- ・ 地域住民が主体的に運営する。

◆令和5年度 事業計画

- ・ 育成希望地区への啓発活動
- ・ クラブマネージャー養成セミナーへの派遣
- ・ 運動施設指定管理者との連携（施設の有効活用促進）

ニュースポーツ振興事業

● ニュースポーツ出前教室

- ・ 使用施設 各小中学校体育館、各公民館など
- ・ 関係団体 会津若松市スポーツ推進委員会